

図書館員が選ぶ この一冊

47

『白い犬とブランコ 莫言自選短編集』日本放送出版協会

莫言／作 吉田 富夫／訳

10年ぶりに故郷に戻ったぼくは、橋のたもとで、全身真っ白なのに両の前足だけが黒い犬と、コーリヤンの葉を背負った人に出会う。それは幼い頃ほのかに思いを寄せていた女性、暖だった。ブランコの事故で片目を失った彼女は、口の利けない夫と三人の息子を抱え、閉塞した日々を送っていた。中国農村の広大な景色を背景に、10年ぶりに交差した男女の心の機微を描く表題作のほか、13編を収録。



1960～70年代の中国農村の営みを鮮やかに描き、中国籍初のノーベル文学賞を受賞した莫言の初期短編集。著者はこの物語を書くに当たり川端康成の『雪国』に影響を受けたといい、『故郷の香り』の邦題で映画化もされた。